

災害の怖さは伝わらない！！

企画部企画課広報担当 笹本 健

記憶は薄れる

阪神・淡路大震災からまもなく8年が経ちます。6,400人あまりの死者を出した地震災害が私たちの記憶から薄れてきています。特に直接被害を受けなかった人たちは、8年前の出来事を普段は思い出すことさえなくなっています。広報を担当するようになってから8ヶ月が経ちましたが、防災科研を訪れた見学者の中にも阪神・淡路大震災を経験した人が何人かいました。

地震が起きたときには、ほとんどの人が寝ていて、大きな揺れで目が覚めたけれども何もすることが出来なかったそうです。時間が経ち被害の状況がわかってくるにつれて、親戚や友人知人の安否が気になるなど、何とも言えない不安を覚えた、と同時に、地震国である日本の建物があまりにも無惨に崩壊したことを知って、改めて地震の

怖さを感じたと言います。最終的に死者・不明6,430人を数える大災害となりましたが、そのような大地震を経験した人でさえ、防災科研を見学で訪れるまで、地震のことを思い出すことはほとんどなかったと言います。

何故でしょうか。答えはなかなか見つかりません。

災害の怖さをどう伝えるか

災害の怖さを見学者たちに伝えるにはどうすれば良いか考えてみました。見学に訪れた人の多くは、防災科研での研究内容を理解出来たと言ってくれます。それと同時に、「こんなに税金をかけて研究しているのだから、地震は予知できますよね」「次はどこで地震が起きますか」「実際に地震が起きたらどうなりますか」という質問を受けることもたびたびです。私には、「



あの日、多くの人々が地震のエネルギーのすさまじさを目の当たりにしました。



明日、あなたのまちがこんな風景になっているかも知れません。

は出来ない」「どこで起きるかわからない」「起きてみないとわからない」と、答えることしかできません。無責任かも知れませんが、見学者からお叱りを受けることはありません。

何故でしょうか。

実際に経験しないと、本当の災害の怖さは伝わらないのです。多くの災害では、国や自治体の対応について、直接被害を受けた人たちが批判や苦情を言うのです。だから、経験したことの無い人にいくら説明しても、その怖さを伝えることは難しいのです。東海地震、東南海地震、南海地震などは近い将来必ず起きると言われていますが、その確率が今後数十年に何%と言われても、興味を示す人はごくわずかでしょうし、起きたときの怖さなど、経験したことの無い人たちには、伝えようがないと思います。いつ起きるか、起きたらどうなるかは、起きてみないとわからないからです。

阪神・淡路大震災が起きたとき、土木・建築の専門家のなかにさえ、高速道路やビルの中層階があのように崩壊するとは思わなかったと言う人がい

ました。専門家にも想像できない現象が起こりうるのです。

生活の中に防災の習慣を

無責任な答えの後に、私は、いつどこでどんな地震が起きるかわからないし、起きる地震は止めることが出来ないのだから、来るであろう地震に備えること、それを今やる勇気が必要だ」と、付け加えることにしています。例えば、お子さんや、お孫さんが寝ている部屋のタンスをネジで固定しているかしていないかで、大きな地震でなくても、生死を分ける可能性があることについて説明します。「今日私が言ったことを実行する勇気、タンスに傷を付ける勇気のある人は、お子さんやお孫さんが地震の犠牲者にならない可能性が少しは高くなりますよ。」とすることにしています。ほとんどの人は納得し、なるほどとうなずいてくれます。「とにかく、今できる最低限のことを、帰ったらやってみてはいかがですか」と伝えます。

要するに、緊急時に備えて今できる

ことを今やる、そして、防災を毎日の生活のなかの習慣にすることが大切だと思います。枕元に懐中電灯を置いておくのも習慣の一つでしょう。地震などの備えや災害が起きたあとの行動について、どんな形でも良いから習慣のなかに取り入れることが大切ではない

でしょうか。現在、天気予報を見ることは、ほとんどの皆さんが習慣になっているような気がしますが、地震に関連した知識や情報が天気予報のように毎日放送されることが考えられてもよいと思います。



第2回成果発表会のお知らせ

研究交流棟の建設工事は順調に進み、建家の外観が現れてきました。完成した研究交流棟では、4月22日(火)に竣工式典とあわせて第2回成果発表会を開催します。プログラム、申し込み方法等の詳細は、防災科研ホームページで随時お知らせ致します。

日	時：平成15年4月22日(火)		
会	場：防災科学技術研究所 研究交流棟		
参	加 費：無料		
プログラム：午前	10:30～	受付	
(予定)	11:00～12:00	施設見学	
	午後	13:00～	竣工式
		13:40～	記念講演
		14:30～	成果発表及びポスター発表
		17:20～19:00	懇親会

編集・発行／ 独立行政法人 防災科学技術研究所

〒305-0006 茨城県つくば市天王台3-1 ☎0298-51-1611(代)

企画課直通☎0298-63-7789 Fax.0298-51-1622

E-mail◆plansec@bosai.go.jp インターネット◆http://www.bosai.go.jp

発行日／2003.1.10